

度も經驗のない觀念は想像の際に役立つものでは
 ありませぬ。若し經驗のない觀念を用ゐて想像を
 させようなど、考へる人があるならば其は木に據
 て魚を求むるの類と云はねばならぬ。全く空なこ
 とになつてしまひます。して見ると恩物の使用と
 云ふことも畢竟は幼兒の經驗の多少に因つて効力
 に差異があるので恩物夫れ自身で獨り卓効を奏す
 ると云ふ譯には行かないのであります。殊に經驗
 の少ない幼兒に斯様な大きな目的を達しさせよう
 と云ふのは全く架空の事と云はねびなりませぬ。
 私 は フ氏の代表的玩具を選定したこと及之を理
 論的に排列したことは如何にも善いことで吾々後
 進の學ぶ可き處であるが如何なるものを選び之を
 如何様に排ぶ可きかと云ふことは今日の思想に因
 つて今日の人の定む可きものであらうと思ひます
 之は頓がてフレイベル先生の意志ではあるまいか
 と思ひます。詰らぬことを永々と申上ました。充
 分に御批評を願ひます。



小學校より見たる幼稚園

藤井利譽

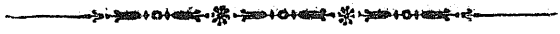
明治九年幼稚園の置かれてから三十餘年経過し
 て居る其の後に盛衰消長はあつたらうが今日に
 於ては小學校令の上にも幼稚園教育に關して立派
 に規定があり又全國現在の幼稚園は或は公立或は
 私立のものを含して随分多數である故に形の上か
 ら考へて見れば今日の幼稚園事業は過去三十年の
 歴史の上では可なり盛であるといふべきであるが
 非常に盛なりといふ譯には行かぬと思ふ
 そこで今日の幼稚園を如何なる意義に於て存在
 すべきであるか幼稚園の任務の如何にあるべきか
 は先程和田君の詳細なる御説明で盡されてあるか
 ら重ねて述ぶる煩を避けて余輩は幼稚園の教育は
 如何に家庭が完全に發達しても是非幼兒教育の機
 關としてなければならぬ教育的ものではないと事
 を申したいのである此先き保育の手段や方法を變
 化もし進歩するであらうが家庭と學校との中間

に幼稚園(名は何と稱してもよい)が存立すべき必要は決して失はるゝところか益々その必要が認めらるゝことであらうと思はれるのである、

然るに今日の幼稚園につきて兎角批難がある誠
に遺憾なことである、其の批難の最も大なるものは幼稚園教育の效果に對するそれである、換言すれば今日の幼稚園の教育の效果は小學校教育のそれと比べて甚だ少く顯著でない働もすれば幼児教育上害を與へはせぬかといふ事である、幼稚園の教育の効果が顯著でないといふ事は是非ないことである、何せといふに小學校であれば入學して二週間も経過すれば文字も覺え不完全ながら名前位を書くことが出来るのであるから何人も直に其の機能を現實に見ることが出来るが幼稚園の方は文字は教へない書も教へるといふことはしない、即ち教ふるといふ事は決してやらぬ、それで高い保育料を拂つて幼稚園に小供を出しても何等の得るところがないかの様に考へる人々が多い、それが素人の考へるなら止むを得ないが黒人の中にも往々それと同じ事を言ふものがある然し幼稚園の

教育は教へないといふところ、大に意義が含まれて居るのである其の効果が手に取る様に見えぬところ、妙味があるのである、目には著しく見えぬが而かも幼児教育の経路から考へて是非なければならぬ

そこで幼稚園を幼児教育の必然の機關たらしむるに、先づ幼稚園の教育は十分に其の効果を顯はさねばならぬ例へば小學校に就學する場合に於て幼稚園から來たものと家庭から直に入學したものととは其の間に格段の差別のある様にせねばならぬ即ち幼稚園教育が小學校初年級教育の上に及ぼす良好なる影響は到底家庭の企て及ぶべきでないといふ迄に幼稚園の教育が進まねばならぬと思ふ余輩の家庭の代理者補助者として見るよりも幼稚園の教育は小學校教育の豫備教育基本教育として見るべきであると思ふものである一体幼稚園教育は家庭的なるべしと思ふ、幾分かは學校的である然家庭的ではないと思ふ、幾分かは學校的であると思ふ現に施行規則の上に一人の保母の擔當する幼児の數は四十人迄は差支ないことになつて居る



四十人は多いといふ人もあらむ少くとも二三十人の幼児を一時に取扱ふことは經濟上よりいへば勿論の事教育上より必要なる事があると思ふ、とにかく人数の上よりいへば家庭に見るべからざる多數の幼児を集めて教育を施すのである其他の教育の方法も全く家庭的に個別的にのみを行はれぬ要之幼稚園教育は家庭に比すれば幼児をして早くより社會的の生活に導く事が多い幼児をして活動せしむる範圍が非常に廣いのである、此の點が大切な處である、故に余輩は幼稚園は純然家庭的にも學校的にも行かず其の中間を通るべきであると思ふ、幼稚園の教育が全く遊戯的に行はるゝといふのを以て學校教育と區別することは必ずしも正當であるまい今日の小学校の初年級の教育も或る點迄は幼稚園的に行はれて居る否幼稚園的にする必要がある決して入學當初より嚴密なる意義に於ける教授のみが行はるゝものでないと思ふ。

外國に盛に行はれて居るといふ幼児預所、依託所の施設の必要は余輩も認むる社會教育上必要な機關である之によりて下層の人民が救はるゝと

が夫なるものである我國にてもポツ／＼右様の施設の興りつゝある事は誠に喜ぶべき現象である然しながら此等の施設を以て幼児教育の機關即ち幼稚園の本領であるとするのが正當であるか余輩は疑ふのである貧富貴賤を問はず學齡以前に於ける幼児を教育する機關か幼稚園である幼稚園は貧賤のものゝ爲めにのみ設けらるものでないと思ふ必ずや教育系統の中に入り込ませねばならぬものはあるまいか。

そこで幼稚園を教育系統の中に入れて小学校の基本教育をなすところとするには今日行はるゝ通りのもので満足すべきか更に一步を進めて教育の方法上改良すべき點はあるまいか、保育事項は現在の分類による遊戯談話唱歌手技の四項を以て十分なりとすべきか現在の恩物は適當なるべきか大に研究の餘地があるではあるまいか、小学校初年級の取扱は随分困難である當時の教育が善く行はるゝと否とは兒童將來の教育上至大の關係がある若し幼稚園教育が最も合理的に行はれ完全なる小學豫備教育を爲して呉れる事とならば小学校

教育は最も好適に行はれ従來の困難を除去せらるゝに至るではあるまいか、今日直に氏の如くすることは諸種の事情少くとも經濟上の關係より出來ぬ點もあるが將來に於ける幼稚園は是非小學校の豫備教育たる實を十分に發揚せしめて貰ひたいのである（尤も氏の問題は學齡問題とも關係があれ

ば此の議論は自然學齡問題に及ばねばならぬが長くなるからそれは略して置く）
前段述べられる如く幼稚園をして小學教育の豫備を適法に行ふところとなすと同時に幼稚園教育に従事する保母の資格待遇の如きは決して今迄のまゝにして置く事は出來ぬと思ふ、少くとも小學校教員と同一に取扱はるゝ様に至るのを望みて止まぬのである、乍去幼稚園教育が現在よりはより多く國民教育の系統に入り國家問題に密接するに至らねば保母の資格待遇乃至養成の問題等は解決出來ぬかも知れぬ余輩は世の幼稚園教育に従事する識者が更に一段の研究を進められ幼稚園問題を研究せられ十分の効果を發揚する事に努力せられむことを切望するのである、

幼稚園に於ける 幼兒保育の實際

某 女 史

一、幼兒の數

常組幼兒の總數は四拾三名にして内男兒は貳拾一名女兒は貳拾二名なりしか第一學期に於て男兒に一名第三學期に至りて女兒に一名半途退園せり

一、保育課目並に各目時間配當

保育の課目は専ら本園所定の保育要項によりて其手技の種類如きも亦之によりたり。各課目時間の配當は左の標準による而して始業とその終りの時間とは別に定められたる本園の規定に従ひてし各課目時間の長短は時によりて一定せず